

## 第201回 上級 商業簿記 ①

## 問題 1

## 連結精算表

(単位：円)

科目	個別財務諸表		修正消去		連結財務諸表
	P社	S社	借方	貸方	
<b>貸借対照表</b>					<b>連結貸借対照表</b>
現金預金	4,000	1,000			5,000
売掛金	700,000	200,000		20,000	880,000
貸倒引当金	(14,000)	(4,000)	400		( 17,600 )
商品	450,000	125,000	6,750	6,750	④ 567,500
				7,500	
土地	1,000,000	500,000	200,000		1,700,000
S社株式	536,000			536,000	
繰延税金資産			2,025	2,025	④ 2,130
			2,250	120	
その他資産	460,000	299,000			759,000
資産合計	3,136,000	1,121,000	211,425	572,395	3,896,030
買掛金	(500,000)	(150,000)	20,000		( 630,000 )
繰延税金負債			120	60,000	( ④ 60,000 )
				120	
その他負債	(336,000)	(421,000)			( 757,000 )
資本金	(1,600,000)	(400,000)	400,000		( 1,600,000 )
利益剰余金	(700,000)	(150,000)	130,000	80,000	( ④ 711,030 )
			6,750	2,025	
			173,645	89,400	
評価差額			140,000	140,000	
非支配株主持分			16,000	134,000	( ④ 138,000 )
				20,000	
負債・純資産合計	(3,136,000)	(1,121,000)	886,515	525,545	( 3,896,030 )
<b>損益計算書</b>					<b>連結損益計算書</b>
売上高	(3,000,000)	(800,000)	80,000		( ④ 3,720,000 )
売上原価	2,200,000	500,000	7,500	80,000	④ 2,620,750
				6,750	
貸倒引当金繰入	8,000	1,000		400	④ 8,600
受取配当金	(64,000)		64,000		
その他費用	456,000	199,000			655,000
法人税等調整額			2,025	2,250	( ④ 105 )
			120		
当期純利益	(400,000)	(100,000)	153,645	89,400	( 435,755 )
非支配株主当期純利益			20,000		④ 20,000
親会社株主当期純利益			173,645	89,400	( 415,755 )

○印は予想配点

## 第201回 上級 商業簿記 ②

## 問題2

決算整理後残高試算表

(単位:円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	100	買掛金	154,000
当座預金	5,000	仮受消費税等	0
売掛金	[ 104,900 ]	未払消費税等	[ ④ 25,900 ]
売買目的有価証券	[ 102,000 ]	未払法人税等	[ 6,600 ]
買建オプション	[ ④ 800 ]	貸倒引当金	[ 2,588 ]
仮払消費税等	0	建物減価償却累計額	[ 358,343 ]
仮払法人税等	0	備品減価償却累計額	[ 69,375 ]
繰越商品	[ ④ 147,900 ]	社債	[ 92,381 ]
貯蔵品	[ 1,000 ]	退職給付引当金	[ ④ 66,600 ]
前払地代	[ 12,000 ]	資産除去債務	[ 141,304 ]
建物	[ ④ 632,770 ]	資本金	500,000
備品	[ 120,000 ]	その他資本剰余金	80,000
保証金	500,000	利益準備金	50,000
長期貸付金	[ 20,000 ]	繰越利益剰余金	60,860
仕入	[ ④ 752,000 ]	新株予約権	[ ④ 9,430 ]
給与手当	150,000	売上	[ ④ 1,159,000 ]
支払地代	[ ④ 24,000 ]	受取利息	500
減価償却費	[ ④ 65,493 ]	有価証券運用損益	[ 1,000 ]
貸倒引当金繰入(販売費)	[ ④ 1,098 ]		
棚卸減耗損	[ 5,500 ]		
商品評価損	[ ④ 4,600 ]		
退職給付費用	[ 4,600 ]		
その他の費用	100,000		
社債利息	[ ④ 1,811 ]		
オプション差損	[ 700 ]		
貸倒引当金繰入(営業外費用)	[ ④ 490 ]		
資産除去債務調整額	[ ④ 1,399 ]		
固定資産除却損	[ 6,920 ]		
法人税等	12,800		
	[ 2,777,881 ]		[ 2,777,881 ]

○印は予想配点

## 第201回 上級 会計学 ①

問題 1

	正誤	理 由	
1.	○		④
2.	×	四半期連結財務諸表の範囲には、四半期連結包括利益計算書も含まれる。	⑥
3.	○		④
4.	×	期間定額基準のみではなく、給付算定式基準も認められている。	⑥
5.	○		④
6.	×	リース債務は、貸借対照表日後1年以内に支払の期限が到来するものは流動負債の部に表示し、貸借対照表日後1年を超えて支払の期限が到来するものは固定負債の部に表示する。	⑥
7.	×	受注制作のソフトウェア制作費は、請負工事の会計処理に準じて処理する。	⑥
8.	×	繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する。	⑥
9.	○		④
10.	○		④

○印は予想配点

## 第201回 上級 会計学 ②

### 問題2

問1	用語		用語
(a)	為替差損益	(d)	親会社が換算に用いる
(b)	株式取得時	(e)	為替換算調整勘定
(c)	発生時	各③	

### 問2

本店と同様に処理を行うのは、在外支店の財務諸表項目は本店が作成する個別財務諸表の構成要素となるので、本店の外貨建項目の換算基準と整合させるためである。 ⑤

### 問3

原則として期中平均相場による円換算額を付する理由は、在外子会社の独立事業体としての性格が強くなり、現地通貨による測定値そのものを重視するとともに換算を簡便にするためである。 ⑤

### 問題3

#### 問1

(a)	報告単位	各④
(b)	共通支配下	
(c)	共同支配企業の形成	

#### 問2

それ以外の企業結合取引については、パーチェス法が採用される。この場合、取得企業が被取得企業の支配を獲得した「買収」ないし「取得」という取引の成立を前提とし、通常の資産売買と同様の処理が要求されるため、取得企業において識別可能資産・負債を取得時の時価で評価する。 ⑤

#### 問3

(1)	のれんまたは負ののれん	③
(2)	のれんは、無形固定資産に計上し、20年以内のその効果の及ぶ期間にわたって、定額法その他の合理的な方法により規則的に償却する。負ののれんが生じると見込まれる場合には、取得企業は、すべての識別可能資産及び負債が把握されているか、また、取得原価の配分が適切に行われているかどうかを見直したうえで、この見直しを行っても負ののれんが生じる場合には、当該負ののれんが生じた事業年度の特別利益として処理する。	⑤

○印は予想配点